

プロセス指標（国の定めた数値目標）

出典：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

※令和元年度の精密検査の結果については、1年後の報告となるため、現段階では受診者数までを掲載する

	受診率	要精検率	精検受診率	陽性反応的中度	がん発見率
<b>説明</b>	がん検診を受けた者の割合	がん検診を受けた者のうち、精密検査が必要とされた者の割合	精密検査が必要とされた者のうち、精密検査を受診した者の割合	精密検査が必要とされた者のうち、実際にがんであった者の割合	がん検診を受けた者のうち、実際にがんであった者の割合
	目標値	許容値	目標値 <sup>※</sup>	許容値	許容値
<b>胃がん</b> (エックス線)	50%以上	11.0%以下	90%以上 (許容値 <sup>※</sup> は70%)	1.0%以上	0.11%以上
<b>肺がん</b>		3.0%以下		1.3%以上	0.03%以上
<b>大腸がん</b>		7.0%以下		1.9%以上	0.13%以上
<b>乳がん</b>		11.0%以下		2.5%以上	0.23%以上
<b>子宮頸がん</b>		1.4%以下		4.0%以上	0.05%以上

※精密検査受診率における国の目標値(90%)とは、全国の精度管理の優良地域上位10%の平均値を参考に設定された値

※精密検査受診率における国の許容値(70%)とは、全国の精度管理の優良地域上位70%の下限(指標によっては上限)を参考に設定された値

胃がん内視鏡検診

単位（人）

	受診者数	要精検者数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率	結果がん	結果がんのうち 早期がん	陽性反応適中度 <sup>※</sup>	がん発見率 <sup>※</sup>
令和元年度 (2019年度)	7,208	423	5.9%	-	-	-	-	-	-
平成30年度 (2018年度)	6,582	298	4.5%	298	100.0%	18	13	6.0%	0.27%

胃がんエックス線検診

単位（人）

	受診者数	要精検者数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率	結果がん	結果がんのうち 早期がん	陽性反応適中度	がん発見率
令和元年度 (2019年度)	3,061	32	1.0%	-	-	-	-	-	-
平成30年度 (2018年度)	5,573	65	1.2%	60	92.3%	8	4	12.3%	0.14%
平成29年度 (2017年度)	7,555	52	0.7%	47	90.4%	4	3	7.7%	0.05%
平成28年度 (2016年度)	8,057	46	0.6%	45	97.8%	5	0	10.9%	0.06%
平成27年度 (2015年度)	8,541	68	0.8%	58	85.3%	3	0	4.4%	0.04%

肺がん検診

単位（人）

	受診者数	要精検者数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率	結果がん	結果がんのうち 早期がん	陽性反応適中度	がん発見率
令和元年度 (2019年度)	23,440	205	0.9%	-	-	-	-	-	-
平成30年度 (2018年度)	23,847	221	0.9%	218	98.6%	14	6	6.3%	0.06%
平成29年度 (2017年度)	23,940	208	0.9%	202	97.1%	24	11	11.5%	0.10%
平成28年度 (2016年度)	23,215	229	1.0%	223	97.4%	19	7	8.3%	0.08%
平成27年度 (2015年度)	23,987	292	1.2%	286	97.9%	21	10	7.2%	0.09%

大腸がん検診

単位（人）

	受診者数	要精検者数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率	結果がん	結果がんのうち 早期がん	陽性反応適中度	がん発見率
令和元年度 (2019年度)	52,184	3,287	6.3%	-	-	-	-	-	-
平成30年度 (2018年度)	52,585	3,051	5.8%	2,390	78.3% (84.0%)	185	108	6.1%	0.35%
平成29年度 (2017年度)	52,748	3,119	5.9%	2,561	82.1%	174	84	5.6%	0.33%
平成28年度 (2016年度)	52,990	3,278	6.2%	2,601	79.3%	163	93	5.0%	0.31%
平成27年度 (2015年度)	54,453	3,411	6.3%	2,682	78.6%	215	111	6.3%	0.39%

※精密検査受診率（ ）の数字は大腸CT検査を含む受診率。

令和元年度分(精密検査結果は平成30年度分)「地域保健・健康増進事業報告」から大腸がんの精密検査においてCT検査は不適切な検査と明記(※一方で、国立がん研究センターがん情報サービスには、大腸がんの精密検査方法として、大腸CT検査は明記)。健康増進事業報告の数値とは異なるが、平成29年度までと整合性を図るため、CT検査を加えた精密検査受診率を（ ）に表記する。

乳がん検診

単位（人）

	受診者数	要精検者数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率	結果がん	結果がんのうち 早期がん	陽性反応適中度	がん発見率
令和元年度 (2019年度)	12,261	633	5.2%	-	-	-	-	-	-
平成30年度 (2018年度)	12,234	640	5.2%	625	97.7%	77	54	12.0%	0.63%
平成29年度 (2017年度)	10,994	492	4.5%	483	98.2%	44	33	8.9%	0.40%
平成28年度 (2016年度)	13,157	536	4.1%	526	98.1%	47	28	8.8%	0.36%
平成27年度 (2015年度)	11,616	657	5.7%	641	97.6%	57	32	8.7%	0.49%

子宮頸がん検診

単位（人）

	受診者数	要精検者数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率	結果がん	結果がんのうち 早期がん	陽性反応適中度	がん発見率
令和元年度 (2019年度)	19,339	460	2.5%	-	-	-	-	-	-
平成30年度 (2018年度)	18,476	473	2.6%	456	96.4%	3	1	0.6%	0.02%
平成29年度 (2017年度)	18,627	500	2.7%	484	96.8%	4	1	0.8%	0.02%
平成28年度 (2016年度)	20,516	465	2.3%	451	97.0%	1	0	0.2%	0.00%
平成27年度 (2015年度)	18,833	479	2.5%	453	94.6%	1	0	0.2%	0.01%